

「和歌山遠征」報告

5月7日(土)・8日(日)に、和歌山県の伝統校である日高高等学校に出向き、合同練習・練習試合をさせてもらいました。日高高校弓道部は、昨年の全国高等学校弓道選抜大会で男子団体準優勝、技能優秀校に輝いた、現在の高校弓道のトップといってもよい強豪です。ちなみに顧問吉田は日高高校弓道部のOBです。



紀州鉄道で移動



和歌山県立日高高等学校



弓道場(昔のままです・・・)

◆やっぱり遠いなあ・・・

5月7日(土)の午後1時過ぎに学校を出発しました。この日は午前中授業があったので、顧問吉田や部員の一部は、昼食を食べる暇もなく電車で飛び乗りました。4時40分頃御坊駅に到着。その後、数年前まで「日本一短い鉄道」として有名だった「紀州鉄道」で高校前にある「学門駅」まで行き、5時前に日高高校に到着しました。特急電車を使えば近いのですが、交通費節約のため普通電車を乗り継いでの移動でしたので、やっぱり遠く感じます。少し疲れを感じつつも、夕食前に軽く練習し、夕食後も9時前まで練習しました。本当はもっと練習する予定でしたが、宿泊場所のシャワーが故障したため、近くの銭湯に行くことになり少し早めに練習を切り上げました。でも、銭湯がとても気持ちよく、これはこれでよかったと思いました。

宿泊施設(吉田は生徒の隣のこの広い部屋で一人でした・・・)



◆正直、圧倒されました・・・

5月8日(日)朝6時起床、部屋の掃除等をして朝食後、試合を想定して9時より試合形式で練習を行いました。その後、昼食を挟み、個人練習と団体練習を何度か入れて時間の許すかぎり練習させていただきました。今回は、日高高校を「仮想岸和田産業」と考えて、この遠征でしっかり勝負して自信をつけようと考えてきましたが、まったく歯が立たなかったというのが率直な感想です。的中はもちろんですが、各選手の射や会での充実、離れの気迫、本校の選手より弱い弓を引いているとは思えない矢勢など、次元がちがうかと、正直圧倒されました。でも、最後の2立勝負では、勝つ事はできませんでしたが、なんとか“勝負”になったかなという感じでした。この最後の2立のおかげで、少し自信を取り戻して大阪に帰ることが出来ました。



◆ありがとうございました。

今回、無理を言って練習試合を入れてもらいました。宿泊施設やふとんの手配等、日高高校弓道部顧問の石本先生には本当にお世話になりました。本当に先輩思いのかわいい後輩です。また、本校に付き合っ、日高高校の部員も宿泊してくれて、いろいろお世話をさせていただきました。本当にありがとうございました。

吉田が高校時代お世話になった恩師、田中良子先生、二つ上の先輩で、現在法政大学弓道部の助監督、コーチをされている中江さんが練習を見に来てくれました。田中先生からは技術的なアドバイスや練習方法などを直接指導して頂きました。（指導を聞いている部員の横と一緒に田中先生の話の聞いていると自分も高校生に戻ったような感じでした。） また、中江さんからは暖かい激励の言葉を頂きました。大学弓道界の頂点にいる法政大学で30年以上指導してきた経験からくる「言葉」には重みがあります。二人の存在は、吉田の人生にとっての大切な“財産”です。本当にありがとうございました。



「同じ練習をしても、何を感じながらやっているかで、

ぜんぜん結果は違ってくるわけです。」 イチロー